

一・ 稲葉貞通書状（折紙）

解説

難解な文書であり誤読もあり得るが、花押は稲葉貞通のものとしてよからう。貞通は稲葉一鉄の長男で字は右京亮。文禄元年（一五九二）朝鮮に出兵しており、本文書に見える「渡海あるべく候」とはそのことか。福富善右衛門の父左衛門は「けいびく」と呼ばれており（一二号文書）、福富家（岡部家）宛最古の史料として近世編の冒頭に収めた。なお稲葉貞通は慶長八年（一六〇三）に没している。